

ほうかつ便り

2022年
5.20作成

地域包括支援センターは地域の高齢者支援の総合相談窓口です。高齢の方々が住み慣れた地域で安心して生活を続けられるよう、介護・健康・福祉・高齢者虐待防止・権利擁護（成年後見制度）など、さまざまな相談を受けております。この広報誌では、将監地域包括支援センターで行っている事業や取り組みを紹介させていただきます。

◆所長 上邨より◆

日頃より当センターの運営に関しまして、ご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

今年も、桂島緑地のマンサクの花と、将監風致公園の桜で春を感じることができました。おかげさまで将監包括では7度目の春です。特に今年は、将監に「将監みんなの複合センター」が新設されたため桜景色も特別な感じがしました。施設内には、地域の方々の新たな交流の場・活動の場として「みんなのサロン ふれ・ミー」が誕生しました。当包括でも、相談会や認知症カフェを通して地域のみなさんとの交流を深めていきたいと思っております。

コロナの収束まで、もう少し時間がかかると思いますが、「マスク」「手洗い」

「フィジカルディスタンス」の基本的な感染対策を施し、今年も介護予防を目指した運動教室の開催等できることから始めていきたいと思っています。

春の異動で1名職員が交代しましたが、今年度も7名体制で、身近に感じて頂ける地域包括支援センターを目指しますので、これからもご指導のほどよろしくお願ひいたします。

所長 看護師

上邨 まゆみ

(うえむら まゆみ)



職員紹介



副所長

主任介護支援専門員

八巻 陽一 (やまき よういち)



社会福祉士

篠原 亜沙子 (しのはら あさこ)



社会福祉士

末谷 千晶 (すえや ちあき)



社会福祉士

根本 雛乃 (ねもと ひなの)



社会福祉士

須田 佐知子 (すだ さちこ)



機能強化専任職員

熊谷 賢尚 (くまがい まさたか)

消費者被害について



権利擁護活動

悪質商法にご注意下さい！！

近日、地震に便乗した悪質商法が発生しています。「保険を使って自己負担なく住宅修理ができる」「保険金の請求手続きをサポートする」等と勧誘される手口です。中には、自治体から委託されている等と虚偽の説明をする業者も存在します。保険金の請求は加入者自身で行うことが基本です。ご自身で加入先の保険会社や保険代理店に相談して下さい。このような詐欺には充分ご注意ください。



虐待や認知症でお困りの方の相談を受け、専門の関係機関と連携して高齢者の方が地域で安心して生活できるよう支援します。

また、権利を守り、住み慣れた地域で自分らしい生活を送るための事業や制度もあります。昨年は日常生活支援事業「まもりーぶ」についての講座を企画しておりましたが、コロナ感染者数の増加のため、やむなく中止となりました。今年も情勢をみながら、地域の皆様の役に立つ講座を考えていきたいと思っております。



『出張相談会』を開催します！

○将監複合センター 地域交流スペース内 毎月第1火曜日

○七十七銀行将監支店 ロビー 6月15日(水)10:00～12:00

※事務所と同じように相談を承ります。個人情報には細心の注意を払い、相談スペースも区切られております。(詳細は別紙にて)

さくらカフェ・笑元カフェ再開

さくらカフェを5月から再開いたします。また、笑元カフェも再開いたします。笑元カフェは将監市民センター内の『ふれ・ミー』内で予定しております。

詳細につきましては、別紙の案内をご覧ください。

お問合せは下記の将監地域包括支援センターまでお願い致します。

皆様のご参加をお待ちしております。



問合せ・申込みについては・・・

将監地域包括支援センター

〒981-3132 仙台市泉区将監10丁目18-13

☎ 772-5501 (日曜祝日除く 8:30～17:00)